

評価結果概要表

【評価実施概要】 作成日 平成21年6月29日

事業所番号	2773600313	評価機関名	特定非営利活動法人
法人名	有限会社 采建設工業		近畿マネジメント・サポート・センター
事業所名	グループホーム 希望	所在地	大阪市東住吉区山坂五丁目5番14-103号
所在地	交野市私市八丁目1番10号	評価調査日	平成 21 年 6 月 26 日
	電話 072-810-5100	評価確定日	平成 21 年 7 月 3 日

【情報提供票より】 (平成21年6月3日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成13年12月1日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数	5人
職員数	8 常勤 2人	非常勤	6人 常勤換算 4.0人

(2) 建物概要

建物の構造	木造 一戸建て 2階建ての(1階～2階部分)
-------	---------------------------

(3) 利用料金等 (介護保険自己負担分を除く)

家賃 (平均月額)	42,000円	その他の経費 (月額)	15,000円	
敷金	無 円			
保証金の有無 (入居一時金を含む)	有 200,000円	償却	なし	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり 1,366円			

(4) 利用者の概要 (6月3日現在)

利用者人数	5名	男性	2名	女性	3名
要介護1	0名	要介護2	1名		
要介護3	0名	要介護4	3名		
要介護5	1名	要支援2	0名		
年齢 平均	80才	最低	78才	最高	85才

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	ひびき眼科クリニック 奥田歯科 星田南病院 交野病院 さくらクリニック
---------	--

【外部評価で確認された、この事業所の特徴】

寝たきりの1人を除く4人の利用者が、日中4人でテーブルを囲み、時には個人で唄を唄い、揃って合唱したり、或いは付近を散歩したり、入浴するなど、のんびりと過ごしている。職員は管理者、計画作成者を含む5名が6年以上の経験者で、笑顔を絶やさず、チームワーク良くケアに当たっている。又、職員全員が、利用者の前日までの全ての介護情報と、計画を把握して、介護に努めている。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題と、その後の取り組み、改善状況 (関連項目: 外部4)
	運営者が職員のスキル・アップに配慮し、積極的に外部研修の受講を奨め、全職員との月例会議で情報交換や、外部研修後の報告等の話し合いを積み重ねている。市役所主催の研修会は、地元での開催のため職員の研修が受けやすく好評である。更に、災害時の緊急避難訓練は、職員主体で半年毎に実施している
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況 (関連項目: 外部4)
	自己評価については、運営者が各評価項目ごとに職員と検討をしながら作成している。日頃から運営者は、計画作成者、職歴の長い職員等を中心とした者とチームワークを組んで介護に当たっており、利用者の個人別の気付き、看取りでの変化について要点を記録し、話し合いで再確認を一緒にしながら改善を図っている
重点項目③	、
	運営推進会議は、平成19年4月から現在まで11回開催されてきた。主な討議内容は、行事の予定や結果の報告、内外の情報交換で、交流情報はホーム運営の向上へ利用している。
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映 (関連項目: 外部7. 8)
	ご家族は原則的に毎月ホームに支払いを兼ねて来訪されているので、その時を利用して近況の報告と対話をしており、ご家族アンケートの集計結果にも、安心と満足を感じている様子が伺える。市の介護相談員さんも毎月、来所していただき、利用者の方々と対話をされていますが、特に、苦情は聞いていないようである。
重点項目⑤	日常生活における地域との連携 (関連項目: 外部3)
	運営者を始め職員の一部が地元の出身で、所在地の小・中学校からの同窓生で、地域住民の一員であるので、交流については、特に配慮するのではなく、地区の方々とは自然体としての関係が出来ている。運営者は認知症キャラバンメイト活動も行い、高齢者福祉活動を支援している。

（ 部分は重点項目です）

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○ 印	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I 理念に基づく運営					
1 理念と共有					
	1	○ 地域密着型サービスとしての理念 地域の中で、その人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「認知症があっても、障害があっても、住み馴れた地域で、家庭的な環境の中で、自分らしく暮らしたいという希望を叶えるためのホーム」という理念のもとに取り組んでいる		
	2	○ 理念の共有と、日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	運営者は毎朝の連絡時や、定例の職員会議でも、理念による介護の実践を指導している		
2 地域との支えあい					
	3	○ 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等の地域活動に参加し、地域の人々と交流することに努めている	運営者が少年期よりの地元出身者であり、職員にも地元出身者が居て、地域の方々との交流は自然な関係で行われている		
3 理念を実践するための制度の理解と活用					
	4	○ 評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	小人数(5名)の利用者でもあり、女性同士のチームワークと、利用者の症状把握が、洩れなく行われて改善につながっている		
	5	○ 運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について、報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービスの向上に活かしている	原則的に2～3月毎に開催されてきている。会議での情報交流はホームの運営の向上に役立っている		
	6	○ 市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	地域のグループホーム事業者協議会が発足して、市の担当者の方々も含めて情報の交流がわれ、運営の向上に役立っている		
4 理念を実践するための体制					
	7	○ 家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び、個々にあわせた報告をしている	ご家族が毎月の支払いに原則的に来訪されており、その際に近況報告等を行っている。ホーム便りも適宜に発行しているが、特に、外出先での写真は喜んで頂いている		
	8	○ 運営に関する家族等の意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	日頃から職員は利用者との対話に配慮している。ご家族、運営推進会議、介護相談員等からは特に、ご意見、苦情はお聞きしていない		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○ 印	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
	9 18	○ 職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の移動はあまりないが、新入の職員については、運営者を始め古くから勤務している職員が、OJTによって指導しているので、利用者の影響は仮りにあっても、最小限になるように努力している		

5 人材の育成と支援

	10 19	○ 職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	運営者は、介護の向上は職員のスキル・アップにあるという考えから、職員の研修については積極的に奨めている。特に、市主催の研修会は会場が地元なので、歓迎している		
	11 20	○ 同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて質を向上させていく取り組みをしている	交野市の同業者との交流会に出席しているが、共通の問題点の解決について、情報の交流が出来るようになり、向上に役立っている		

II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1 相談から利用に至るまでの関係づくりと、その対応

	12 26	○ 馴染みながらのサービス利用 本人が安心して納得した上で、サービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	ご家族、利用者本人との話し合いは十分行われている。利用者本人の体験宿泊も実施している		
--	-------	--	--	--	--

2 新たな関係づくりと、これまでの関係継続への支援

	13 27	○ 本人と共に過ごし、支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は利用者とは、同じ目線で話し合うようにしている。又、利用者には人生の先輩として接するよう運営者は配慮し、指導している		
--	-------	---	--	--	--

III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1 一人ひとりの把握

	14 33	○ 思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	入所時に、本人の過去における情報取得に配慮している。又、入所後は職員間で、毎朝の連絡時に、確認し合っている。ご家族の墓参希望にも適宜、対応している		
--	-------	---	---	--	--

2 本人がより良く暮らしを続けるための介護計画の作成と、見直し

	15 36	○ チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	毎朝、職員間の情報伝達はノートにより確認し合っている。月ごとの定例会議で、利用者の見取り、聞き取りの集約が行われ、新計画づくりの基となっている		
--	-------	--	---	--	--

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○ 印	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
16	37	○ 現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。	定例の見直し以外の、利用者の症状に対応した計画の見直しは、日常的に行われて、利用者、ご家族と関係者間の話し合いで決められている		

17	39	○ 事業所の多機能性を活かした支援 本人や、家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	利用者、ご家族に事情に合わせて、適宜、事業所として支援をしている		
----	----	---	----------------------------------	--	--

4 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

18	43	○ かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られた、かかりつけ医と、事業所の関係を築きながら、適切な治療を受けられるように支援している	契約内科医師、歯科医師の定期的な往診を受けて頂いている		
19	47	○ 重度化や週末期に向けた方針の共有 重度化した場合や、終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびに、かかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化の対応は、入所時の説明でご家族と十分に話し合っているが、改めて支援については、ご理解を深めるよう話し合いを進めている		

IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1 その人らしい暮らしの支援

(1) 一人ひとりの尊重

20	50	○ プライバシー確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報取り扱いをしていない	職員はホームの方針として、利用者に対しては、人生の先輩として接するように指示されており、その実践についても職員同士でチェックし合っている		
21	52	○ 日々の、その人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ホームとしての生活の流れに従ってはいるが、個人の希望には出来るだけ叶えるように配慮している。利用者の中には、近隣のデイケア施設に週3回参加して楽しんでいる方も居る。		

(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援

22	54	○ 食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の準備については、出来る方に適宜、手伝って頂いている。回転すし、は喜ばれるので適宜、実施している		
----	----	---	--	--	--

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○ 印	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
	23	57	<p>○ 入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>		<p>生活の流れに従って入浴して頂いているが、希望があれば適宜に、対応している</p>

(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援

	24	59	<p>○ 役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>		<p>職員は工夫しながら、日々の生活の中で、一人毎の出来る範囲内で一緒に楽しんでもらっている</p>
	25	61	<p>○ 日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりの、その日の希望にそって戸外に出かけられるよう支援している</p>		<p>近所の散歩だけでなく、地区での「高齢者福祉活動いきいきサロン」への出席、銭湯、外食店、ドライブ等、適宜に支援している</p>

(4) 安心と安全を支える支援

	26	66	<p>○ 鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中、玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>		<p>玄関ドアについては、鍵を掛けない日中は、原則的に開放している</p>
	27	71	<p>○ 災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日頃より地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>		<p>職員だけで緊急時の避難の訓練を年2回実施している。運営者を始め職員は、近隣の方々とは日常的に交流に努めている</p>

	28	77	<p>○ 栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>		<p>日々の摂取カロリー、水分量の基本は守られており、体重のチェックもしている</p>
--	----	----	---	--	---

2 その人らしい暮らしを支える生活習慣づくり

(1) 居心地のよい環境づくり

	29	81	<p>○ 居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>		<p>リビング、廊下等に季節感の飾りや、利用者の作品を掲示している</p>
	30	83	<p>○ 居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>		<p>各自が居室を飾り、家具等は自由に持ち込み、居心地よく過ごしている。</p>